

公共施設カルテ

1 基本情報

施設名	柔道場	所在地	須坂市大字須坂777番地 1		
施設分類	スポーツ・観光系施設	所管課	文化スポーツ課		
財産区分	行政財産	延床面積（㎡）	390.96		
居住誘導区域	該当	防災関連施設	該当		
設置根拠	須坂市体育施設条例	設置の目的・経緯	体育の振興を図るため	交通アクセス	バス停穀町から徒歩 5 分
事業内容		貸付の有無	有		
管理運営の状況		委託内容	使用料収受については公益社団法人須高広域シルバー人材センター		
備考（その他特記事項）	卓球場としての利用など、複合的利活用の検討				

2 建物の状況

階数 (主たる建物)	地上	1	地下	-	建築面積		延床面積	390.96
構造 (主たる建物)	S造				建築年度 (主たる建物)	1967	築年数 (主たる建物)	58
帳簿原価	145,427,080				耐震化の状況		耐震改修済み	
減価償却累計額	78,333,230				バリアフリー対応		×	
老朽化率	54.0%				省エネルギーの対応状況			
過去10年の改修費用	75,054,280				施設の劣化状況			
維持管理・更新投資の充足度	95.8%							

3 施設コスト

単位（千円）

		2023	2024	2025	3年間の平均値
費用	人件費	810	825	890	842
	委託料	0	0	0	0
	光熱水費	122	172	134	143
	維持補修費	148	0	0	49
	減価償却費	1,655	1,655	1,655	1,655
	指定管理料	0	0	0	0
	その他	112	78	74	88
	費用合計	2,847	2,730	2,753	2,777
収入	利用料等収入	293	334	333	320
	国庫補助金等収入	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
収入合計		293	334	333	320

収支	-2,554	-2,396	-2,420	-2,457
利用者一人当たりコスト	0.67	0.56	0.52	0.58

修繕履歴	金額	6,248	内容	2020年度 耐震補強等工事設計業務委託
		3,135		2021年度 耐震補強等工事設計監理業務委託
		1,199		2022年度 女子トイレ改修工事
改修履歴	金額	45,760	内容	2020年度 耐震・長寿命化
		68,640		2021年度 耐震・長寿命化
今後10年間での大規模改修費用				

4 施設利用状況

利用対象	特定の人（団体）に限定されていない	
開館時間	平日	午前8時30分から午後9時30分
	休日	午前8時30分から午後9時30分
休館日	12月から翌年 1 月 3 日	
駐車場の有無	有	

	2023	2024	2025	3年間の平均値	平均と2025の比較
年間利用者数	4,260	4,882	5,317	4,820	10%
年間利用可能人数					
利用率					
（参考）年間目標利用人数					
年間利用時間	893	975	1,137	1,002	14%
年間利用可能時間	4,464	4,433	4,667	4,521	3%
稼働率	20.00%	21.99%	24.36%	22.15%	10%

公共施設評価結果シート

施設名施設名称	柔道場
---------	-----

1 各評価

(1) 経費効率に関する評価

評価項目	評価	点数	評価基準
3か年の管理運営経費と利用者数による相対的評価	B	1	平均と比較して少ない（50%以上100%未満）
合計		1	

【評価基準】

評価項目	評価	点数	評価基準
3か年の管理運営経費と利用者数による相対的評価 (当該施設の経費÷当該施設の利用人数) (市民利用全施設の経費÷市民利用全施設の利用人数)	A	2	平均と比較してかなり少ない（50%未満）
	B	1	平均と比較して少ない（50%以上100%未満）
	C	0	平均と比較し同規模（100%以上150%未満）
	D	-1	他施設と比較して多い（150%以上200%未満）
	E	-2	他施設と比較してかなり多い（200%以上）

(2) 必要性に関する評価

評価項目	評価	点数	評価基準
利用者数	A	2	過去3か年平均と比較して、増えた（10%以上）
利用者の多様性	A	1	現在の利用者が、特定の人（団体）に限定されていない
貸館稼働率	B	1	過去3か年平均が20%以上50%未満
合計		4	

【評価基準】

評価項目	評価	点数	評価基準
利用者数	A	2	過去3か年平均と比較して、増えた（10%以上）
	B	1	過去3か年平均と比較して、同等・やや増えた（0%以上）
	C	-1	過去3か年平均と比較して、やや減った（-5%以上）
	D	-2	過去3か年平均と比較して、減った（-10%以上）
利用者の多様性	A	1	現在の利用者が、特定の人（団体）に限定されていない
	B	-1	現在の利用者が、特定の人（団体）に限定されている
貸館稼働率 【B】パターン	A	2	過去3か年平均が50%以上
	B	1	過去3か年平均が20%以上50%未満
	C	-1	過去3か年平均が10%以上20%未満
	D	-2	過去3か年平均が10%未満

(3) 施設老朽度に関する評価

評価項目	評価	点数	評価基準
老朽化率	B	1	50%以上75%未満
耐震性能	C	2	耐震改修済み（昭和56年以前に建設された施設で、耐震改修済）
バリアフリー	B	-1	車いすでの移動が困難
合計		2	

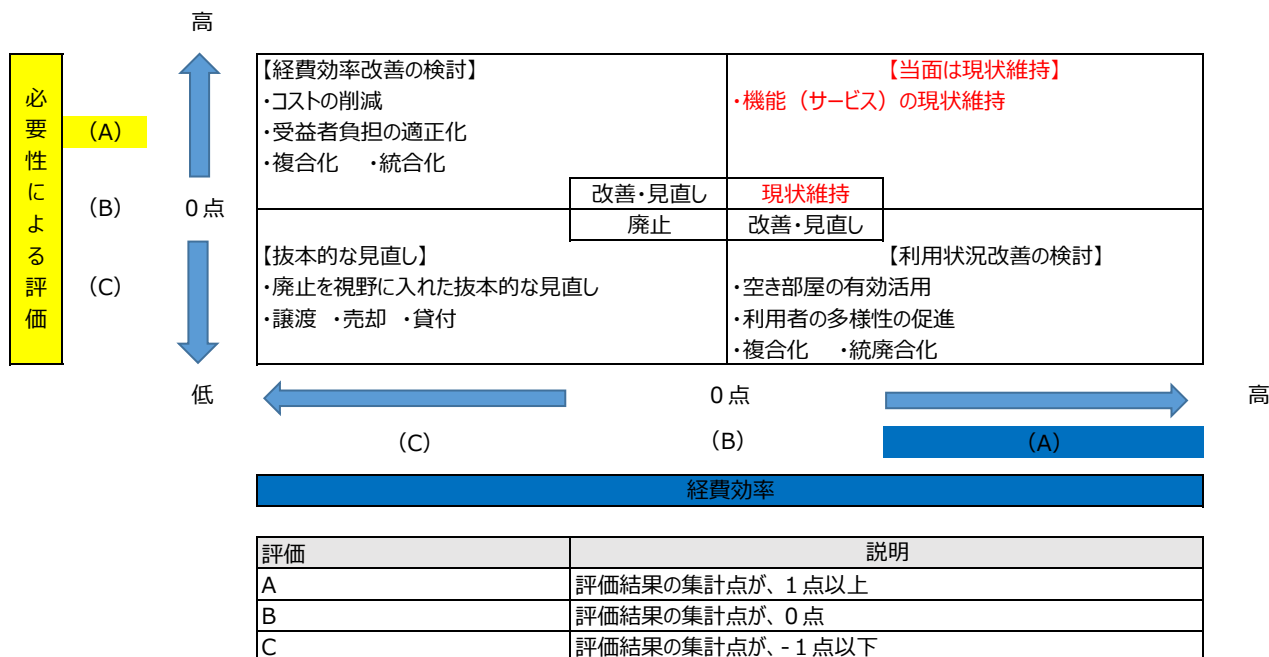
【評価基準】

評価項目	評価	点数	評価基準
老朽化率	A	2	50%未満
	B	1	50%以上75%未満
	C	-1	75%以上100%未満
	D	-2	100%
耐震性能	A	2	新耐震基準施設（昭和57年以降に建設された施設）
	B	2	耐震改修不要（昭和56年以前に建設された施設で、耐震診断の結果耐震改修不要）
	C	2	耐震改修済み（昭和56年以前に建設された施設で、耐震改修済）
	D	-2	耐震診断未実施（昭和56年以前に建設された施設で、耐震診断未実施）
	E	-2	耐震改修未実施（昭和56年以前に建設された施設で、耐震改修未実施）
バリアフリー	A	1	車いすでの移動が可能
	B	-1	車いすでの移動が困難

2 経費効率と必要性の評価からソフト面における施設の評価します

横軸	経費効率による評価	1
縦軸	必要性による評価	4
合計点数		5

【当面は現状維持】



3 ソフト面における評価と施設の老朽化度（ハード面）の評価から最終的な施設の方角性を導きます

横軸	老朽化度からの評価	2
縦軸	必要性和経費効率からの評価	5
合計点数		7

【当面は現状維持】

